

四阿山山行報告



【山行日】2019年 6月 1(土) 晴れ

【集 合】岩舟支所 P AM 5:00

【費 用】マイカー1台 : 4,600円

【メンバー】CL: 鈴木、 菊池、 鶴見、 福島、 藤原

【コースタイム】岩舟支所 P5:00＝菅平牧場 P

7:10/7:30～根子岳 9:20/9:30～四阿山 11:00/11:20～

西花童子の宮跡分岐 11:45/12:20～中四阿山

12:40/12:50～小四阿山 13:10～菅平牧場

P14:10/14:30＝「ゆきむら夢工房」14:50/16:00＝岩舟支所 P18:10

どうしても1日(土)に四阿山に登りたいというリクエストがあり、急遽四阿山に登る計画を立てた。今回も菅平牧場から根子岳に登り、十ヶ原から四阿山に登って中四阿山へ下る周遊コースにした。上信越道の上田菅平 IC で降り、国道144号線から406号線を通り菅平牧場に着く。牧場入口の料金所で入山料200円を人数分納め、第2駐車場に車を止めるよう指示される。今日は土曜日で天気が良い予報なので登山者が多く、第1駐車場は満車で第2駐車場も数台分の空きしか無かった。準備を整えたら登山口脇のトイレに移動し、トイレを済ませてストレッチを行い出発する。牧場に沿って登って行き、20分程登ると東屋がある展望テラスに着く。小休止し衣服調整して展望を楽しむが、雲が多く北アルプスの大展望は得られなかった。ここから少し登るとシラカバの純林が現れ、新緑の中気持ちよく登れる。さらに登るとダケカンバの高木帯となり、ムラサキヤシオの花がちらほら見えるようになる。低いクマザサが茂る道を登り、振り返ると今登って来た牧場や畑が裾野に広がる様子が一望できる。山頂部が見えてくるとガレた岩の登りになり、一登りで根子岳山頂に着く。



大きな祠と展望盤がある広い山頂からは、360度の眺望が得られるが北アルプスや中央アルプスの山々は雲で見えなかった。大休止しフルーツや菓子をいただき、展望盤を見ながら四阿山等の展望を楽しむ。ここからは南東に谷を隔てて大きく見える四阿山に向かうが、登って来た道とは違い狭い岩稜を下るようになる。溶岩の間の狭い登山道を縫うようにして下り、途中展望が良い岩場で記念写真を撮る。急な岩尾根を慎重に下り、下り切った所が大隙間と呼ばれる笹原の鞍部である。

ここから四阿山への登りとなり、ササの道を登るとやがて柵やシラビソの樹林帯の急登に変る。樹林帯の登山道には所々残雪があり、雪や濡れた岩で滑らないよう慎重に登る。

きつい登りが続き後続が少し遅れ、時折待ちながら高度を上げて行く。やがて傾斜が緩くなり、視界



が開けると再び草原に出る。小休止し、振り返ると笹原の向こうに根子岳が大きく聳え素晴らしい。この先で三差路になり、左に折れて四阿山に向かって登って行く。広い木段を登り鳥居峠への道を右に分け、稜線通しに登ると四阿山山頂に着く。山頂は大勢の登山者で賑わっており、手前の神社跡では巫女さんが着替えていた。「今日は何か行事があるのですか？」と尋ねると、「今日は山開きが行われます」との事。道理で大勢の登山者が居る訳で、神社の前では神主さん

や役員が準備をしていた。山頂で記念写真を撮るのも順番待ち、休憩も奥の岩場を空けてもらいやっと場所を確保する。トマトや菓子をいただき山頂神社に戻るが、開山式まで待てないので下山する。下るとすぐに巫女さんが来たので、一緒に写真を撮り下山する。往路に戻るが開山式を狙って次々に登山者が登ってくるので、すれ違うのに時間が掛かる。やっと三差路まで戻り、ここから直進して中四阿山へ向かう。



少し下った平らな場所でランチタイムとし、味噌ラーメンを作っておにぎりと一緒にいただく。

中四阿山や小四阿山を眺めながら食べるランチは、



とても美味しく感じた。中四阿山では中学生の団体が昼食中で、賑やかな声がここまで聞こえてくる。ランチが済んだら下山開始し、中四阿山に向かう。中四阿山山頂から根子岳や四阿山の絶景を眺め、景色を堪能したら駐車場に向かって下山する。途中から中学生の団体を追い抜きながらの下山になり、小四阿山を過ぎるまでは早歩きで下山する。中学生の団体を追い越すと静かになり、のんびりと花を楽しみながら下れた。

沢を渡り牧場の牛舎が見えると道路に出て、舗装道を右に進むとトイレの前に出る。トイレを済ませたら売店に行き、ソフトクリームをいただいて疲れた体を癒した。靴を履き替えたら車に乗って帰路につく。途中、地元の直売所「ゆきむら夢工房」に寄り、野菜やお土産を買い岩舟に向かう。

上信越道や北関東道は渋滞も無く順調に走り、ほぼ予定通り岩舟支所に帰着した。